

一般質問

・災害時の被災状況の把握について
・乳幼児保護者の不安材料の払拭について



高田和幸

問

災害時には、被災状況の早期把握が重要ですが、状況報告する町内会役員が被災してしまうケースが考えられます。現場に精通し、地域の実情を把握している消防団にお願いできないか地域に詳しく機動力のある消防団が、被害状況を速やかに収集できる体制の整備は非常に重要だと考えます。今後はデジタルツール等を活用した報告体制の構築に向けて研究していきます。

答

白羽、御前崎は保育政策により公立の園がなくなり、私立の園が1園となりました。地域が希望したのではなく、行政側の都合で今の状態となった訳です。保育士の手配ができないため、入園ができない状況があつては困ります。法人が用意できないのなら、市から保育士を派遣する等して、保育ニーズに応えるのが、市の責務であり、約束ではないのか

答

保育をより充実させるためには、配置基準を上回る保育士を確保できることが、望ま

いと考えます。可能な限り子育て環境を整えてまいります。

問

出産時の支援、生まれてから学校に通うまでの支援、義務教育期間、高校、大学進学への支援と子供への支援をどうつなげていくか、市民に納得してもらい子育てを市全体で行うことが子供政策だと思っています。御前崎中学校の将来についてどう検討するか2年間のロードマップを公表するとともに、子供政策についても将来の計画を早期に作って公表してほしいと思うがいかがか

答

本市の子供政策は、出生前から成人に至るまで切れ目のない支援を行うことが重要であり、市全体で取り組む必要があると考えます。また、御前崎中学校の今後の進め方は、まずは御前崎、白羽地区の保護者から意見を伺い、その後、市民の声を聞きながら学区再編の方向性を検討したいと考えます。関係者の意見を伺いながら、丁寧に段階を踏んで進めていきたいと考えます。

一般質問

・市長の掲げる政策の具現化について



河原崎恵士

問

財政健全化について、基金繰入れと地方債償還の見通しを伺う

答

ふるさと納税など歳入の確保や既存事業の見直しなどを進め、基金の健全な運用を目指します。令和6年度決算時点では令和9年度の約8億円が地方債償還のピークとなる見込みです。有利な条件の地方債を活用しながら発行額を抑制して予算を編成しており、財政への圧迫は徐々に軽減されるものと見込んでいます。

問

公共施設のコンパクト化の現状と今後の方向性について伺う

答

維持すべき施設と改善を図るべき施設を選別し、コンパクト化を進めております。今後の方針は、維持すべき施設は計画的な保全により長寿命化を図り、人口規模や財政状況に見合った最適な施設配置や保有量とすること、量から質への転換を図ることにより、利用率の高い効率的な公共施設を提供するよう努めます。

問

原子力政策について、国の機関との情報交換等について伺う

答

原子炉設置変更許可が下りた場合は、原子力規制庁、内閣府、経済産業省など、原子力政策に係る機関に向いていただき、市民、市議会、市内各団体などに対し、審査結果に対する安全性についての説明はもとより、再稼働によるメリット、リスクの回避方法などを含め、丁寧に説明を求めています。

問

本市における英語教育の強化の現状について伺う

答

本市では英語指導助手（ALT）を各校に配置し、ネイティブの発音や表現に触れながらコミュニケーション活動を充実させています。また、英語によるプレゼンテーション資料を作成し、互いに紹介し合う学習を行うことで、自ら表現する力の育成を図っています。今後は教育委員会と市と連携し、海外にある学校との連携について研究していきます。